

# I. アジア

## 大韓民国

### <2005年の注目すべきポイント>

韓国では、鉱物資源が不足していること、鉱物資源の国内需要が上昇していることから、韓国産業界にとって鉱物資源を長期的、安定的に確保することは重要な課題である。

鉱物資源のほとんどを輸入に頼っているため、海外資源開発に民間部門が関与していくことを促進するための政策を構築していく必要がある。韓国は、アジア・太平洋地域を中心に海外展開を図っていかねばならないとし、APEC 諸国との関係を重要視している。

### 1. 非鉄金属一般概況

韓国は、鉱物資源に非常に乏しい国である。大韓鉱業振興公社 (Korea Resources Corporation: KORES) によると、アンチモニー、石炭、銅、金、鉄鉱石、鉛、モリブデン、銀、錫、タングステン、亜鉛をほとんど埋蔵しておらず、カオリン、石灰石、葉ろう石、石英岩、滑石のような工業用資源が比較的埋蔵されている。

2005年においては、韓国はカドミウムと亜鉛地金においては世界有数の生産国である。また、アジア・太平洋地域においては、セメント、銅地金、ろう石、滑石についても有数の生産国となる。また、同地域においては、石炭、天然ガス、酸化ニッケル、各種鉱石（銅、鉄、鉛、亜鉛）、原油の主要な消費国、輸入国のひとつである。資源に限られているため、韓国はビスマス、石炭、各種鉱石（銅、鉄、レアアース、亜鉛）、ホタル石、天然ガス、石膏、マグネサイト、原油の需要を満たすためにはほぼ 100% 輸入に頼らなければならない。

韓国では無煙炭、鉄類、非鉄金属、工業用原料を含む鉱業、採石部門は、韓国経済の中でも最も小さい部門の一つであり、韓国政府による統計によれば、2004年の GDP において鉱業、採石部門の数字は、0.33% でしかなかった。また、鉱業部門における就業者数は、2005年6月時点で、0.1% でしかない。

### 2. 鉱業政策の主な動き

韓国では、鉱物資源に恵まれていないため、鉱物資源の多くを輸入に頼らざるを得ず、また資源危機に対応するための資源備蓄も不十分である。そのため、韓国政府は積極的に海外探鉱や鉱物資源開発を推し進め、資源国との協力体制を模索している。韓国政府としては、(1) 最重要国家方針としてエネルギーの安定供給を確保すること、(2) エネルギー及び鉱物資源開発のために投資を拡大すること、(3) 戦略上重要な国とのエネルギーと鉱物資源における協力関係を強化すること、(4) 海外資源開発にかかわるビジネス部門に対する支援体制を強化することを掲げている。

エネルギー安全保障政策を達成するため、2004年に韓国政府は海外資源開発の支援体制を見直すため、海外資源開発のための第2次10ヵ年計画（2004年～2013年）を作成し、導入するために国家エネルギー委員会を設立した。エネルギー、鉱物資源のための投資ファンドを拡大するという政策の達成のため、新しい税制上の優遇措置が導入され、エネルギー特別予算とエネルギーの資源基盤は増加した。また、韓国輸出入銀行のエネルギーに対する戦略資金の上限も増加され、債務保証基金も立ち上げられた。更に、戦略的に重要な国家とより強い協力体制を構築するために、韓国政府は中央アジア、ラテンアメリカの資源国との資源外交を積極的に進めている。また、海外資源開発におけるビジネス部門の支援体制を成し遂げるために、資

源開発分野における特別な国有会社の競争力を高めることによって、魅力的なプロジェクトで民間部門の参入を容易にした。

なお、2006年7月に行われた「6大主要鉱物資源開発戦略セミナー」で発表したところによると、韓国の鉱産物需要が5年毎に倍増しており、輸入依存度は1990年代の70%から2005年85%以上に上昇したとしている。また、産業資源部は、5つの方向で対策と推進課題をまとめた。

- ① 戦略地域別資源協力体制の構築
- ② 鉱物資源開発への投資拡大

- ③ 韓国型開発モデルの開発
- ④ 資源開発専門会社の育成
- ⑤ 資源開発インフラの構築

### 3. 主要鉱山物の生産・輸入・消費・輸出動向

韓国は金属鉱物資源をほとんど生産しておらず、比較的多く広範囲の工業用鉱物資源を生産する。金属鉱物資源で鉱山から生産されるものは、金、銀、鉄鉱石、鉛、亜鉛といったものであるが、ほとんど生産されていない。

主要な鉱物の生産量、消費量は以下のとおりである。

主要鉱物の鉱山生産量 (金属純分：千t)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
銅	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鉛	5.2	3.6	3.6	1.8	2.7	1.0	-	3.6	-	-
亜鉛	8.3	8.9	10.5	9.8	11.5	9.8	0.1	-	-	-
ニッケル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
金(t)	1.1	0.6	0.0	0.0	-	-	0.3	0.7	0.7	0.7
銀(t)	-	0.0	2.8	-	-	-	11.3	21.6	21.6	21.6

出典：World Metal Statistics 2006

主要鉱物の地金生産量 (千t)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
銅	246.2	265.0	368.8	450.5	470.5	476.3	499.1	510.0	496.0	509.2
鉛	140.1	173.6	183.1	193.6	222.3	212.9	229.2	219.3	224.0	228.9
亜鉛	286.6	335.4	390.1	429.8	473.0	506.1	608.1	647.5	668.7	625.0
ニッケル	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

出典：World Metal Statistics 2006

主要鉱物の消費量 (千t)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
銅地金	598.4	620.6	559.8	783.9	862.2	848.5	936.3	900.5	939.5	852.6
鉛地金	230.8	295.1	260.0	255.6	309.1	312.3	320.5	343.8	358.1	350.7
亜鉛地金	350.4	311.9	302.0	472.0	419.2	393.8	466.6	437.5	420.0	423.1
ニッケル地金	50.3	66.6	72.4	89.5	90.1	59.1	95.6	112.5	122.6	117.7

出典：World Metal Statistics 2006

貿易においては、韓国は銅、鉄、鉛、亜鉛等の鉱石・精鉱、鉄、非鉄金属生産、石炭、天然ガス、原油等の鉱物資源をほとんど輸入に頼っている。

主要鉱物の輸出入については、次のとおりである。

主要鉱物の輸入量 (金属純分：千 t)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
銅精鉱	109.9	129.5	243.4	291.7	294.3	293.4	319.7	331.3	327.0	348.0
粗銅	87.4	108.8	62.6	59.9	47.9	59.0	68.8	51.1	53.5	32.8
銅地金	351.0	395.7	487.4	484.7	418.9	380.0	446.3	441.4	487.7	428.0
鉛地金	101.0	95.6	70.8	102.4	112.9	131.4	135.7	152.8	156.8	158.8
亜鉛地金	88.1	67.7	71.0	111.3	128.5	97.5	116.0	107.7	71.5	59.5

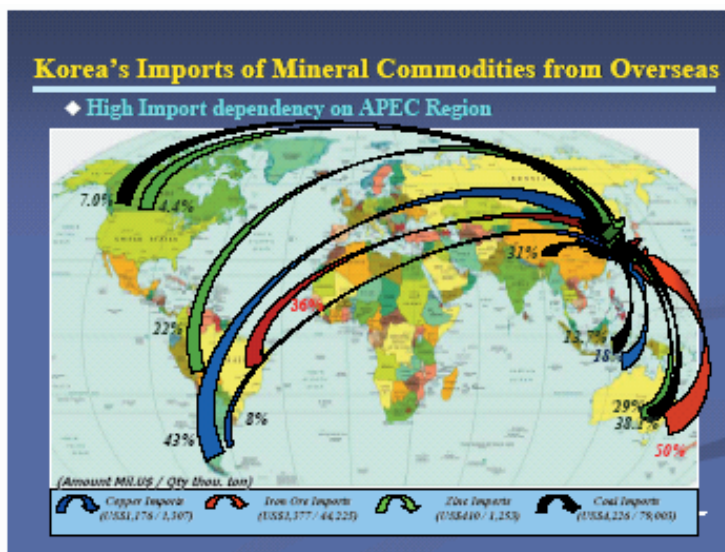
出典：World Metal Statistics 2006

主要鉱物の輸出量 (千 t)

	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005
銅地金	7.7	40.5	296.4	148.6	27.1	8.2	14.9	42.2	46.7	87.2
鉛地金	9.8	25.1	44.9	30.6	26.1	31.0	44.4	28.3	22.3	36.9
亜鉛地金	24.3	91.2	159.1	153.5	177.2	209.8	263.5	317.8	320.1	261.4

出典：World Metal Statistics 2006

また、韓国での主要鉱物における輸入対象国は、下記のとおりでアジア・太平洋地域に集中している。



出典：APEC・KORES Presentation 資料より

また、韓国政府は石炭、ウラン、銅、亜鉛、鉄、レアアースを6大戦略鉱物資源とし、海外での韓国による自主開発による輸入率を2013年までに以下のとおりとしている。

	石炭	ウラン	銅	亜鉛	鉄	レアアース
2004年	35%	10%	20%	40%	20%	10%
2013年	24.3%	-	6.9%	36.7%	5.7%	4.0%

出典：APEC・KORES Presentatio 資料より

#### 4. 鉱山会社活動状況

##### ① 大韓鉱業振興公社 (Korea Resources Corporation: KORES)

KORESは、韓国政府100%出資により、韓国鉱業界を広範囲に支援するために1967年に設立された国営会社であり、産業資源部(Ministry of Commerce, Industry and Energy)の管理下にある会社である。

設立目的：①国内鉱物資源の開発

②海外鉱物資源の開発

③石材の開発

④鉱物資源情報センターとしての役割

職員数：345人

資本金：303.6億ウォン(政府出資99.13%、韓国開発銀行出資：0.87%)

純利益：(億ウォン)

2002年	2003年	2004年
37	58	27

出典：KORES HP

##### ② Korea Zinc

1974年に設立された会社で、亜鉛・鉛を中心に金、銀、主に半導体業界向けの硫酸を生産しており、廃電池等からのリサイクルを行っている。

財務状況 (億ウォン)

	2001	2002	2003	2004	2005
売上高	8,866	102,648	93,784	117,793	137,589
営業利益	10,411	6,974	4,579	11,690	15,740
純利益	3,598	7,885	4,241	10,831	7,096

出典：Korea Zinc HP

##### ③ LS-Nikko Copper Inc.

日本の日鉱金属、三井金属、丸紅により設立された投資会社「日韓共同製錬株式会社」と韓国のLGグループ3社(LG電線社、LG産電社、LG商事社)とが50%対50%の出資により1999年に「LG-Nikko Copper Inc」として設立された銅精錬事業会社。その後、LGグループが名称をLSグループと変更したのに伴い、「LS-Nikko Copper Inc」と名称を変更した。

#### 5. 鉱山・製錬所状況

##### ① Onsan (温山) Copper Smelter/Refinery

位置：温山、蔚山

会社名(権益比率)：LG Cable 50%、日韓共同製錬46%、日鉱金属80%、三井金属10%、丸紅10%、Gerald 4%

主要生産金属：銅

生産量：

(金属量千t)

	2001	2002	2003	2004	2005
溶煉	476.0	500.0	506.0	492.0	510.0
精錬	410.0	430.0	460.0	450.0	-

Raw Materials Data, May 2006, Raw Materials Group

\*Changhang (長項) copper refinery の生産量を含む。

##### ② Onsan (温山) Zinc/Lead Smelter/Refinery

会社名(権益比率)：Korea Zinc 100%(Young Poong)

主要生産金属：鉛、亜鉛

生産量：

	2001	2002	2003	2004	2005
銅(kg)	3.0	4.0	4.0	-	-
金(k)	-	20.7	11.3	-	-
鉛(kg)	161.1	178.7	168.0	160.0	160.0
銀(t)	520.0	785.6	764.4	-	-
亜鉛(kg)	399.3	408.0	427.0	425.0	420.0

Raw Materials Data, May 2006, Raw Materials Group

製錬方法：

精錬：ELR

### ③ Sukpo Zinc Refinery

位置: Nonhyun-Dong, Gangnam-Ku, Seoul

会社名 (権益比率): Young Poong (Young Poong)

主要生産金属: 亜鉛

生産量:

(金属量 kt)

	2001	2002	2003	2004	2005
精錬	108.0	190.0	200.0	243.0	225.0

Raw Materials Data, May 2006, Raw Materials Group

製錬方法:

精錬: ELR

### 6. 我が国との関係

わが国のこれまでの鉱業関係プロジェクト実施状況

- ・1992 年度非鉄金属の需給動向調査 金属鉱業事業団資源情報センター
- ・1970 年度ウラン資源調査 動力炉 核燃料開発事業団

### 7. 国際会議等の実績

2005 年 5 月 18 日～21 日

第 9 回 APEC/GEMEED 定期会合及び第 1 回非鉄金属ダイアログ会合

2005 年 10 月 18 日～21 日

第 7 回 APEC エネルギー大臣会合、第 2 回 APEC 鉱業大臣会合

### 8. その他トピックス

- ・2005 年 5 月に KORES が、北朝鮮最大の鉄鉱石鉱山である茂山（ムサン）鉄鉱山の開発に中国と共同で乗り出すことを明らかにした。
- ・2005 年 12 月に LS-Nikko Copper ltd. と KORES がペルーで 4 億 t 規模の銅鉱床を発見したと発表した。両者は、カナダの鉱山会社チャリオット・リソーシズと共同開発当たる見通しで、LS-Nikko Copper ltd. と KORES が 15%ずつ出資し、残りをチャリオット社が出資の見通し。生産開始は、2009 年の予定としている。

(2006. 8. 23/本部 白鳥)